

令和5年4月17日

河内長野市立西中学校
校長 上田 孔士

保護者のみなさまへ

気象警報発令時及び大規模地震発生時の安全対策について（保存版）

陽春の候、保護者のみなさま方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育にご支援・ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、気象警報等が発令された場合、以下の通り対応いたしますので、ご協力お願いいたします。なお、学校への問い合わせは控えていただきますようお願いいたします。

この措置は年間を通じて適用いたしますので、この文書の保管をよろしくお願ひします。

気象警報等の発令時の対応について

河内長野市に
『暴風警報』『大雨警報』『洪水警報』『土砂災害警戒情報』『大雨特別警報』
のいずれかが発令されている場合、または
河内長野市から
警戒レベル3以上または、『避難指示』が出された場合

※気象警報等と警戒レベルの関係については、裏面を参照ください。

在宅時（登校前）に発令した場合

時刻と状況	対応
午前7時に発令されている場合	自宅待機
午前7時～午前9時30分に解除された場合	安全に注意して速やかに登校（昼食持参）
午前9時30分で解除されない場合 （7時段階で発令されていなかったが、新たに発令された場合も含む）	臨時休業

在校中に発令した場合

発令以降の気象情報等を総合的に判断した上で、下校を早めたり遅らせたり等、生徒の安全確保のための措置をとらせていただきます。状況によっては、職員による引率や巡視を実施します。



大規模地震発生時（河内長野市で震度5弱以上の場合）の対応について

登校前の場合（自宅を出る前）

- 前日の17時以降自宅を出る前までに、河内長野市に「震度5強以上の地震が発生」した場合、学校は臨時休校とします。
- 通学路や学校に危険がなく授業ができる状況にある場合は、学校より連絡いたします。

登校・下校途中の場合

- 大きな地震が起きた場合は、原則としてそのまま帰宅させてください。ただし、学校に近い場合または危険なために自宅に戻れない場合は、いったん学校に避難し、保護者の迎えを待ちます。

在校中

- 授業を打ち切り、学校で待機させますので、保護者の方が迎えに来てください。

河内長野市で震度4以下の地震発生の場合の対応について

- 「震度4以下」の地震が発生した場合は、校区内の被災状況等の安全を確認した上で、通常どおり登校させてください。



==== お願い ====

- 家庭に連絡がつかない場合がありますので、緊急時の連絡先や下校先を必ず担任に連絡しておいてください。
- 下校後は、外出をさせないように十分ご注意ください。
- 家庭におかれましても、日頃より、子どもさんと緊急時の対応方法や避難先について、十分に話し合っておいてください。

※この対応は、あくまでも原則です。緊急時には円滑に対応できない可能性もありますが、学校としては生徒の安全を最優先に対応いたします。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【参考資料】地震の震度と体感、状況について

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	-	-
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	-	-
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	-
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が更に多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

【参考資料】5段階の警戒レベルと防災気象情報の関係

警戒レベル	気象庁が発表	市町村が発表
5	・大雨特別警報 ・暴風特別警報	
4	・土砂災害警戒情報	・避難指示
3	・大雨警報（土砂災害） ・洪水警報 ・暴風警報	・避難準備 ・高齢者等避難開始
2	・大雨注意報 ・洪水注意報 ・強風注意報	
1		



内閣府ホームページより

(http://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h21/bousai2009/html/honbun/1b_fuzoku_siryo_11.htm)